

# 広報 きずな

平成24年6月26日 発行  
編集発行  
芦北町社会福祉協議会  
熊本県芦北郡芦北町大字湯浦1439-1  
(きずなの里内)  
TEL: 0966-86-0294  
HP: <http://www.ashikita-shakyo.com>



子どもふれあい教室inみどりの里 (関連記事P5)



みんなの笑顔が届きました



きずなの里デイサービスセンター事業 (関連記事P6)

## 夏号

- 平成24年度事業計画・予算
- 平成23年度事業の概要・決算
- 地域福祉活動推進員全体会・委嘱状交付式
- 共同募金配分金事業
- 地域ケア会議での取り組み
- デイサービス事業
- 介護支援専門員実務研修受講試験
- 香典返し及び一般寄付
- 広がる地域の輪 など



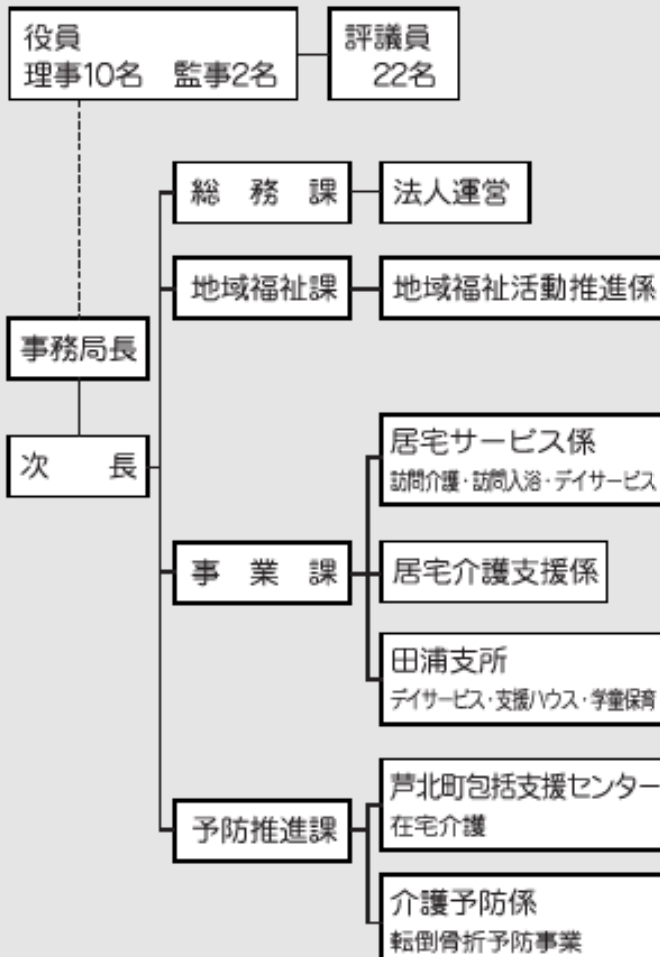
## 平成24年度事業計画・予算

平成24年3月19日にきずなの里において理事会が、同月21日には評議員会が開催されました。両日とも事業計画及び予算の審議が行なわれ、原案どおり議決されました。また、平成24年度から平成28年度までの5ヵ年長期計画も承認されました。

【基本方針】 ～住民主体による「新たな支え合い」地域福祉の推進～		
【重点目標】		
① 法人運営の適正化	③ 地域福祉活動推進体制の強化	
② 職員の資質向上とサービスの質の向上	④ 新たな転倒骨折予防事業の取り組み	
【事業計画】		
平成24年度の事業推進体制は、これまでの在宅福祉課と田浦支所を統合して事業課とし、予防推進課にたっしゅか会と地域包括支援センターを編入し、介護予防事業を統合しました。		
(総務課)	(地域福祉課)	(予防推進課・地域包括支援センター)
① 法人運営事業	① 小地域福祉推進事業	① 転倒骨折予防事業（たっしゅか会）
② 資金貸付事業	② 地域福祉権利擁護事業	② 芦北町地域包括支援センター運営事業
③ もやい直しセンター運営事業	③ 共同募金地域配分金事業	③ 在宅介護支援事業
④ シルバー人材センター運営事業	④ 水俣・芦北地域見守り活動推進事業	
(事業課・田浦支所)		
① 介護保険事業（きずなの里デイサービス、八幡荘デイサービス、訪問介護、訪問入浴、居宅介護支援）		
② 高齢者生活福祉センター管理運営事業		
③ 学童保育事業		
④ 田浦福祉センター管理運営事業		



## 芦北町社会福祉協議会 組織機構図



## 平成24年度予算

◆収入 [単位：円]


勘定科目	予算額	構成比
会費	6,277,000	1.8
寄付金	4,653,000	1.4
補助金	59,790,000	17.4
助成金	510,000	0.2
受託金	74,097,000	21.6
事業収入	26,839,000	7.8
貸付事業等	305,000	0.1
共同募金配分金	4,951,000	1.4
負担金	1,865,000	0.5
介護保険	115,607,000	33.7
支援費	338,000	0.1
雑収入	323,000	0.1
受取利息配当金	113,000	0.0
会計単位間繰入金	70,000	0.0
経理区分間繰入金	38,280,000	11.1
積立金取崩	1,544,000	0.5
その他	1,724,000	0.5
前期繰入金	6,318,000	1.8
合計	343,604,000	100.0

◆支出 [単位：円]

勘定科目	予算額	構成比
人件費	189,541,000	55.2
事務費	2,647,000	0.8
事業費	94,658,000	27.6
貸付事業等	300,000	0.1
共同募金配分金	4,951,000	1.4
助成金	3,920,000	1.1
負担金	64,000	0.0
会計単位間繰入金	70,000	0.0
経理区分間繰入金	38,280,000	11.1
固定資産取得	4,694,000	1.4
その他	3,535,000	1.0
予備費	944,000	0.3
合計	343,604,000	100.0

## 平成23年度事業概要及び決算について

平成24年5月24日にきずなの里において理事会が、翌25日には評議員会が開催されました。そこで平成23年度事業報告及び決算等が審議され、原案どおり承認されました。概要は以下のとおりです。

<b>【総務課】</b> ① 理事会・評議員会の開催 ② 福祉金庫貸付事業 ③ 生活福祉資金貸付事業 ④ シルバー人材センター運営事業	⑤ もやい直しセンター運営事業 ・水俣病情報発信事業 ・ふれあい再生事業 ・生きがいづくり事業 ・施設開放事業	<b>【地域包括支援センター】</b> ① 新子防給付ケアマネジメント業務 ② 介護予防ケアマネジメント業務 ③ 総合相談・権利擁護業務 ④ 包括的・継続的ケアマネジメント業務 ⑤ 介護予防事業
<b>【予防推進課】</b> ① 転倒骨折予防事業（たっしゅか会） ② 介護予防等在宅支援のための地域社会構築推進事業	<b>【事業課・(旧在宅福祉課・田浦支所)】</b> ① 介護保険事業 ・訪問介護事業 ・訪問入浴事業 ・きずなの里デイサービス事業 ・居宅介護支援事業 ・八幡荘デイサービス事業 ② 委託事業 ・生活支援ハウス運営事業 ・学童保育事業 ・田浦福祉センター管理運営事業	
<b>【地域福祉課】</b> ① 小地域福祉推進事業 ② 地域福祉権利擁護事業 ③ 地域福祉推進特別支援事業 ④ 共同募金運動・地域配分金事業 ⑤ 水俣・芦北地域見守り活動等支援事業 ⑥ 芦北町民生委員児童委員協議会活動支援 ⑦ 在宅介護支援事業		

## 平成24年度 役員

監事	理事	副会長	会長
嶋白藤田片垣米竹宮坂宮畑	多石崎良山添倉浦崎口島中	富正龍又武悦裕達健秀	士清司清雄明子道夫一孝夫

評議員
永岡澤楮宮福池大瀬高日小峯
田部田木川山田塚口野野田
恵一 宣功正隆秀信輝桂良
美 功子徳守昭敏邦一子生子子

岩橋江山徳宮山篠永
問本島下尾森本原山
勇敏茂生眞千榮千恵
治雄松吾徹子子鶴一

## 平成23年度決算

【単位：円、％】

勘定科目		決算額	構成比
事業活動収支	収入		
	会費	6,219,010	2.0
	寄付金	4,114,539	1.3
	経常経費補助金	50,131,351	16.0
	助成金	510,000	0.2
	受託金	91,172,152	29.1
	事業収入	25,741,040	8.2
	共同募金配分金事業費	4,840,289	1.5
	負担金	1,841,307	0.6
	介護保険	101,677,445	32.4
	支援費	261,623	0.1
	雑収入	607,043	0.2
	引当金戻入	944,366	0.3
	国庫補助金等特別積立金取崩額	25,361,123	8.1
	事業活動収入計	313,421,288	100.0
支出			
人件費	198,924,946	61.0	
事務費	3,345,651	1.0	
事業費	87,337,381	26.8	
共同募金配分金事業費	3,981,203	1.2	
助成金	3,048,000	0.9	
負担金	59,576	0.0	
減価償却費	26,059,085	8.0	
引当金繰入	3,617,289	1.1	
事業活動支出計	326,373,131	100.0	
事業活動収支差額	△ 12,951,843		
事業活動外収支	収入		
	受取利息配当金	84,782	
	会計単位間繰入金	2,596	
	経理区分間繰入金	116,516,180	
	事業活動外収入計	116,603,558	
	支出		
会計単位間繰入金	2,596		
経理区分間繰入金	116,516,180		
事業活動外支出計	116,518,776		
事業活動外収支差額	84,782		
経常収支差額	△ 12,867,061		
特別収支差額	△ 2,600		
当期活動収支差額	△ 12,869,661		

## 地域福祉活動推進員全体会

「事業報告と寸劇「サロンのすめ」」

3月17日(土)きずなの里において地域福祉活動推進員全体会を開催し、70名の参加がありました。まず、水俣・芦北見守り活動支援事業における取り組みについての報告が行われ、本会職員による寸劇「ふれあい・いきいきサロン」のすめ」を行いました。寸劇は、一人暮らし高齢者の孤立や子育て中の母親が抱える悩み、または地域役員の交代で地域活動が衰退してきたなど地域の課題をサロン活動を通じて、地域で考えていこうとする内容でした。

そのほか、芦北町社会福祉協議会会費の内容、介護予防サポーターや認知症サポーター養成講座についての説明もありました。

参加者からは、「町の高齢化率など、実態が少し分かった」、「寸劇は、活動内容が分かりやすく、楽しかった」、「これからの活動の参考にしたい」などの感想が聞かれました。

今後、地域福祉活動推進員の皆さまが活動しやすいよう研修会などの開催をしていきたいと考えております。



## 一般会費の御礼

「地域福祉活動の活性化のために」

今年度も本会では、区長さん及び世話人さんをおして地域福祉活動の趣旨に賛同していただいた世帯から1,000円の会費を納入していただきました。

いただいた会費は、50%を地域に還元し、地域の実情にあわせて地域福祉活動に活用していただきます。残りの50%は、ふれあい・いきいきサロン事業など様々な地域福祉活動に役立させていたいております。

皆さまのご理解とご協力、心よりお礼申し上げます。平成24年6月19日現在の一般会費の納入額は左記のとおりです。

ありがとう



加入金額 5,687,000円  
加入世帯 5,687世帯

## 地域福祉活動推進員委嘱状交付式

「推進員の役割とサロンの活動報告」

5月26日(土)多目的研修センターにおいて地域福祉活動推進員委嘱状交付式がありました。

本会では、地域福祉活動に取り組むボランティアの方に対し、地域福祉活動推進員として委嘱しています。平成24年度は、374名の方が委嘱を受けられ、当日は140名の方が出席されました。



各地区の代表者5名に委嘱状が手渡された後、「地域福祉活動の取り組みと推進員の役割」について説明があり、昨年度にふれあい・いきいきサロンの助成を受けられた計石・古道・湯北地区3つのサロンの事例発表がありました。サロンを始め、活動内容、サロンの始めての成果など発表していただき、今後活動を考えられている地区の参考になったかと思えます。本会も推進員さんと連携をとりながら、これから町内の地域福祉活動がますます活性化するように展開していきたいと思っております。



## 自分の町をよくするしくみ ～共同募金配分金事業～

### 子どもふれあい教室

～みどりの里でピザ焼き～  
だじ汁じゅうりを体験

3月29日(木)にみどりの里にて地域住民との交流と子ども達の健全育成を目的に町内の小学生20名が参加し、地域住民の皆さんの指導のもとピザ焼きとだじ汁づくり体験をしました。

当日は、ピザの生地をこねるところから始め、生地の発酵中にだじ汁に入れる野菜を手分けして切りました。普段からお母さんの手伝いで料理をする子どももいて、包丁の使い方も上手でした。ピザは、発酵がすんだ生地を一人ひとりのぼし、好みの具をのせて焼きました。ピザのほかにだじ汁やおにぎりをづくり、次々と焼き上がるピザと一緒に子どもたちはお友達とおしゃべりしながら、美味しくいただきました。

午後は、館長さんの案内でみどりの里周辺を散策し、子どもたちも自然に触れ、楽しい一日を過ごせました。



### ボランティア養成講座

～今、求められる助け合いの心～

5月17日(木)に、芦北町ボランティア連絡協議会と協賛し、ボランティアの意味を今一度知っていただき、活動の意識を高め、一層の振興を図る事を目的にボランティア養成講座を開催し、22名の方が参加されました。

熊本県ボランティアセンター所長 江口俊治氏より「いま求められる、となり近所の助け合い」をボランティア活動から学ぼうとを演題に講演が行われました。

東日本大震災の支援活動から、平時のボランティア活動やボランティアを受け入れることが、非常時に活かされることや、基礎的なボランティアの知識等を話され、参加者の方も熱心に聞いていました。



### 介護者のつどい

～買い物と温泉でリフレッシュ～

6月1日(金)に在宅介護者のリフレッシュを目的に八代よかこ物産館での買い物とさかもと温泉センター「クレオン」での昼食と入浴を兼ねた介護者同士の情報交換会を行いました。参加者の中には、「坂本方面には初めて来ました。」「のんびりと空気がよくゆっくり出来ました。」「との感想が聞かれ、情報交換会では、「お互いに高齢化による介護面や家庭状況等の話が充分できました。」「介護者の皆様の声にとても力を頂きます。」など、それぞれの悩み事を話し合われ、一日を通してとても楽しまれました。

6月1日(金)に在宅介護者のリフレッシュを目的に八代よかこ物産館での買い物とさかもと温泉センター「クレオン」での昼食と入浴を兼ねた介護者同士の情報交換会を行いました。参加者の中には、「坂本方面には初めて来ました。」「のんびりと空気がよくゆっくり出来ました。」「との感想が聞かれ、情報交換会では、「お互いに高齢化による介護面や家庭状況等の話が充分できました。」「介護者の皆様の声にとても力を頂きます。」など、それぞれの悩み事を話し合われ、一日を通してとても楽しまれました。



## 地域包括支援センター

～困難ケースや多問題ケースの解決に向けた地域ケア会議での取り組み～

高齢化が年々高まってきている中で、介護をする人も介護を受ける人も共に高齢者である、いわゆる“老老介護”や、介護者と介護を受ける人も共に認知症がある、“認認介護”といった状況が芦北町でも珍しくありません。このようなケースでは介護サービス等の利用につながりにくかったり、介護の問題だけでなく、高齢者虐待や経済的なこと等、複雑な問題を多く抱えていることがあります。そこで、芦北町や民生児童委員、介護サービス事業者、地域のボランティア等の支援に関わる人たちが集まり、個々の利用者についてそれぞれの分野からのアドバイスを受けて解決への糸口を模索するための“地域ケア会議”を今年度4月から月1回定期的に開催しています。この会議では、困難なケース等の事例を提供してもらい、公的サービスやボランティアや地域の見守りといった非公的サービスを組み合わせることでどのように支援していくかを検討しています。

この会議をとおして地域包括支援センターでは、関係機関との連携をさらに強化し、安心して高齢者が暮らせる地域づくりを推進していきます。



## きずなの里デイセンター

～月曜日から土曜日まで利用者様と共に楽しむ日々～

きずなの里デイサービスセンターでは、新年度のスタートと共に、月曜日から土曜日まで業務を行っております。特に土曜日については、千利休に扮した職員が利用者様にお茶を点ててもてなしたり、切り込みなどのお手伝いをしていただき、おやつや餃子づくり等を行ったりしています。調理を行った女性の利用者様は、「10年ぶりに包丁を持った！久しぶりで手が震えたパイ。ぼってん楽しかった。」とにこにこの笑顔でした。

きずなの里デイサービスセンターでは、これからもいろいろなことに取り組み、笑顔に溢れた楽しいデイサービスを目指してスタッフ一同頑張っていきたいと思っております。



お点前頂戴します(^^)



調理中!!



美味しいお昼をみんなで協力しながら作ります。



平成24年度介護支援専門員実務研修受講試験について

1. 試験日 平成24年10月28日(日) 午前10時開始
2. 受験資格 原則として、保健、医療、福祉の分野で通算5年(一部10年)以上の実務経験を有する方
3. 配布機関 平成24年6月11日(月)～平成24年7月20日(金)
4. 配布場所 熊本県社会福祉協議会(福祉人材・研修センター)  
各市町村社会福祉協議会(支所を含む)  
熊本県認知症対策・地域ケア推進課、熊本市高齢介護福祉課  
※試験案内の郵送による配布は行いません。
5. 受験申込の受付期間 平成24年7月2日(月)～平成24年7月20日(金)
6. 受験申込の方法 上記受付期間中に簡易書留により熊本県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター宛に郵送してください。(7月20日の消印有効)

【お問い合わせ先】

熊本県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター  
〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町3-7 熊本県総合福祉センター4階  
TEL:096-322-8077 FAX:096-324-5464  
※土曜日、日曜日及び祝祭日を除く 午前9時から午後5時まで

香典返し及び一般寄付

本協議会にご芳志を賜りました。ありがとうございます。  
平成24年3月1日～平成24年5月末受付分



【香典返し】

3月分

・染野フサエ	小田浦5	(故染野 一松)	・高辻 利美	田浦町1	(故高辻 龍一)
・清水 ユリ	田浦3	(故清水 哲也)	・高野美智子	乙千屋	(故山本サツミ)
・松永 繁信	田浦町2	(故松永マツエ)	・村田 圭介	八代市二見	(故村田 重雄)
・江口 晴美	豊岡	(故江口 敬二)	・宮村 重子	花岡西	(故宮村安太郎)
・山内テル子	湯浦東	(故山内 典男)	・宮島 文雄	宮崎	(故宮島 重光)
・井手口仔子	白岩	(故井手口利浩)	・大川 千鶴	大川内南	(故大川 榮一)
・佐川 忠邦	宮崎	(故佐川 美穂)	・馬城 静雄	大阪市	(故馬城ツタエ)
・松崎アヤ子	湯浦南	(故松崎 シキ)	・宮本 清盛	計石西	(故宮本ミヨ子)
・橋口 康人	高岡北	(故橋口 サヲ)			

4月分

・山下 登	横居木	(故山下ツギヲ)	・田中イツエ	田浦町2	(故田中 中)
・溝崎 健一	小田浦6	(故溝崎ミツエ)	・山本 敏雄	花岡東	(故山本 勝喜)
・白奥 律子	白木	(故白奥テル子)	・木山 志信	白木	(故木山 明)
・徳田 友子	湯北	(故徳田 英勇)	・井樋口輝夫	道川内西	(故井樋口美智子)
・田中 睦子	米田	(故田中ミキヨ)	・一原 琢美	市野瀬	(故一原千寿子)
・瀧本 隆盛	大野	(故瀧本 季人)	・佐々木範子	向町	(故山之口ミエ)
・桑原 昭二	東京都	(故桑原 幸子)			

5月分

・森 正一	小田浦5	(故森 スミエ)	・木場 互	小田浦7	(故木場ミヨ子)
・農田 晃	小田浦2	(故農田マリ子)	・篠原 正美	田浦町3	(故篠原スミエ)
・桑鶴 仁志	八代市植柳	(故桑鶴ツネコ)	・山下キミ子	田浦3	(故山下九十九)
・告山 等	東告	(故告山ミチ子)	・杉村 サノ	花岡西	(故杉村 金義)
・波口ノブ子	海浦2	(故波口 邦男)	・杉本 芳郎	海浦2	(故杉本ムツ子・秀典)
・池田 重美	花岡西	(故宮下フジエ)	・松本 幸	熊本市中央区	(故松本 昌子)
・福山 敏	高岡北	(故福山 功)	・田畑フクエ	乙千屋	(故田畑 繁)
・川尾 敏昭	小田浦2	(故川尾 博子)			

【一般寄付】

- ・匿名2件
- ・芦北芳柳会(代表三道トシエ)
- ・手話サークルつばさ(代表田爪奈緒美)

## 地域の安心・安全を守る取り組み〈大川内東地区〉

6月3日(日)大川内東地区では、区長、推進員、消防、自主防災会の15名で梅雨時期を目前に地域の危険箇所を確認して回りました。この取り組みは、平成23年度に実施しました地域福祉推進講座「災害図上訓練D1G」を元に地図上に落とした情報を実際に歩いて確認し、改めて情報を共有することを目的に地域の役員を中心に実施されました。

当日は、実際に歩きながら防火水槽の場所や火事起きたときに水槽内の水がどのくらいもつか、豪雨時に水路の水かさが増すか、水路を流れてきた水がはけずに吹き出す場所や土嚢袋が劣化していないかなどの再確認と危険箇所の改修工事についての進捗状況について説明もありました。危険箇所周辺の近隣住民への聞き取り調査なども行い、歩いて地域を回ることで新たに気づいた危険箇所もありました。また、豪雨時にひとり暮らし高齢者を避難誘導する際の留意点などの確認も行いました。

危険箇所の見回りに参加された皆さんは、地域住民が安心・安全に過ごせるようにという思いで災害時に想定される危険箇所の確認を真剣に行っておられました。



# 広がる地域の輪!



## サロン活動をとおして住民同士の情報共有を図る〈古道地区〉



地域福祉活動推進員委嘱状交付式(関連記事P4)にてふれあい・いきいきサロンについて事例発表をしていただきました古道ナイトサロンは、昨年度に同事業の助成を受け、毎月20日に活動を実施し、地域住民の安否確認と情報共有を図っています。古道地区では、地域福祉活動推進員と公民館役員が連携をとりながら、サロン活動を実施されています。また、月1回の活動に加え、季節行事やグラウンド・ゴルフ大会などをとおして地域住民同士のコミュニケーションの活性化を図り、災害の危険性の高い時期には危険箇所などの情報の共有化を図っています。サロンの設立助成金により購入した調理器具なども季節行事の際に地域住民で取り組む手作り料理に活用されています。

地域福祉活動推進員の池田氏は、「このサロン活動をとおして高齢者と若い世代がお互いに理解し合い、従来にも増して協力体制ができた。今後、月1回の活動や季節行事に加え、地域住民のためになる講話なども取り入れていきたい。」と話されていました。

本会もふれあい・いきいきサロンのような「拠点から広がるふれあいの輪」を推進してまいります。ふれあい・いきいきサロンの助成以外にも各種助成事業がございますので、詳しいことについてのお問い合わせは下記までお問い合わせください。

**\* 地域福祉活動についてのお問い合わせ先 \***

芦北町社会福祉協議会 地域福祉課 Tel: 86-0294